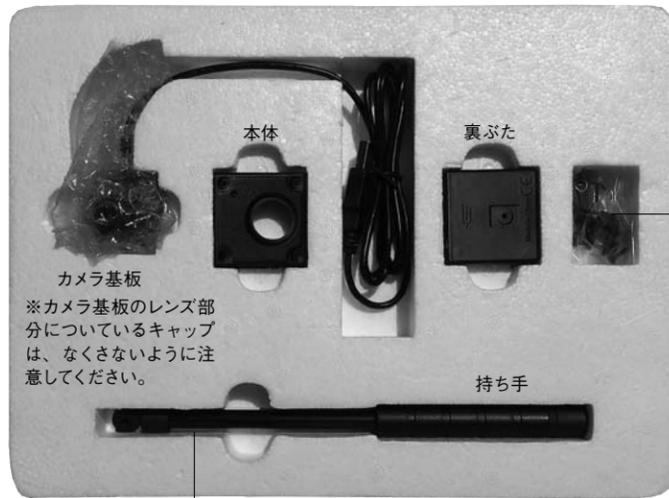


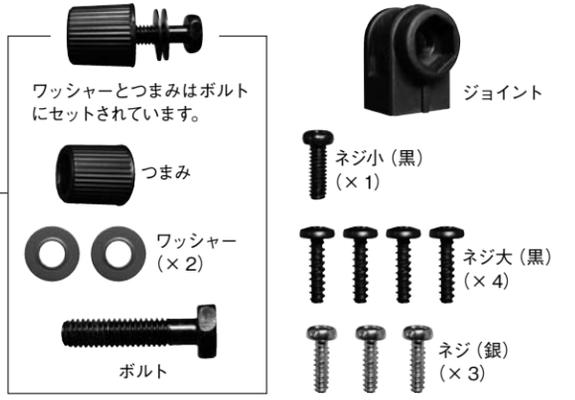
ふろくの  
組み立て方  
と使い方

# USB特撮カメラ

## 入っているもの



ソフトは付属していません パソコン内のソフトまたはフリーソフトをダウンロードするなどしてご利用ください。



**用意するもの**  
●このふろくに使われている部品の材質  
本体一式：ABS  
ネジ、ボルト、ナット、ワッシャー：  
鉄(クロームメッキ)  
※不要になったときは、各自治体の決まりに従って処分してください。

プラスドライバー、USB 接続口のあるパソコン (Windows / Mac)

※シールは、持ち手の上に貼ってあります。



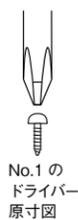
## 注意

ふろくを組み立てる前に必ずお読みください。

- とがった部品の取り扱いには十分に注意してください。けがをするおそれがあります。
- ネジなど、小さな部品があります。誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ★使い方と注意をよく読んでから実験してください。
- ★安全のため、この説明書にある使い方を必ず守ってください。また、使用中に破損、変形してしまった部品は使用しないでください。

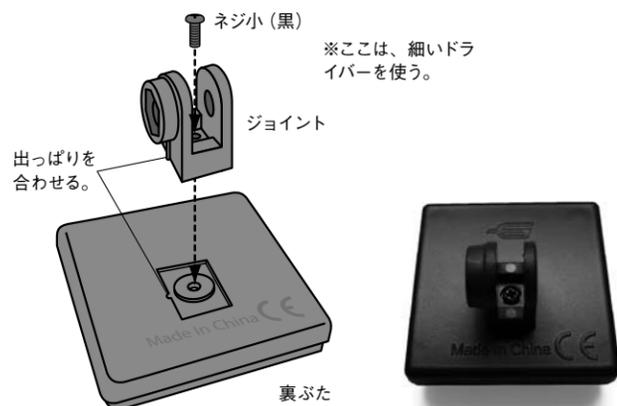
## ネジどめの注意

ふろくに使われているネジは、プラスチックにみぞを刻みながら入れていくタイプ。ネジどめに使うドライバーは、JIS規格のNo.1のドライバーが最適。ネジをとめるときは、ドライバーをネジにしっかり垂直に押し付けながら回す。基本は押す力が7、回す力が3といわれる。精密ドライバーは回しにくいので、グリップ径が2cm くらいの小型ドライバーを使う。

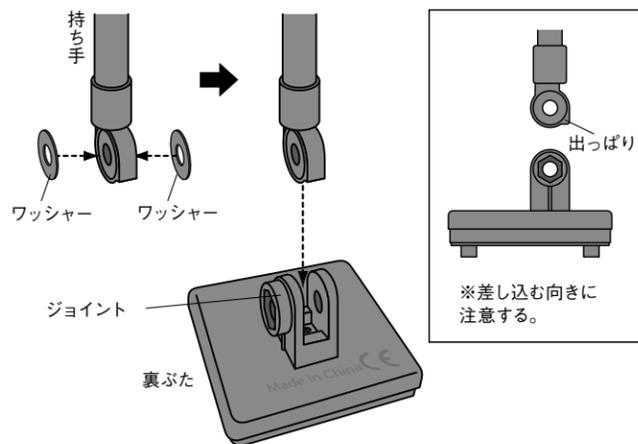


## 特撮カメラを組み立てる

### 1. 裏ぶたにジョイントを取り付ける。



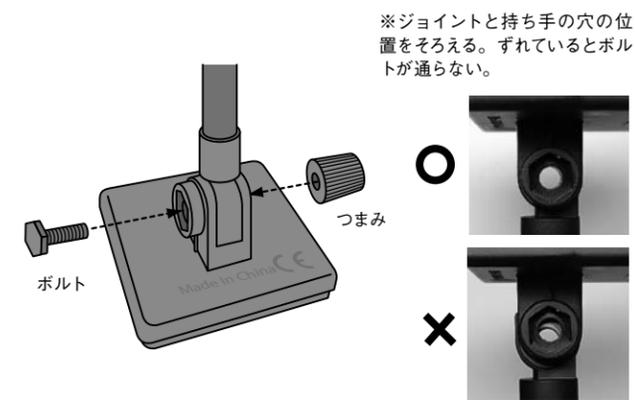
### 2. 持ち手をワッシャーと一緒にジョイントに差し込む。



製品には万全を期しておりますが、万一部品の不良・不足等ございましたら、編集部までご連絡ください。良品をお送りします。  
TEL: 03-6431-1272 (編集部直通 月～金 10:00～17:00) e-mail: okm@gakken.co.jp (電子メール、あるいは携帯メールでのお問合せの場合、本文に必ずあなたの住所・氏名・電話番号を記入してください。)

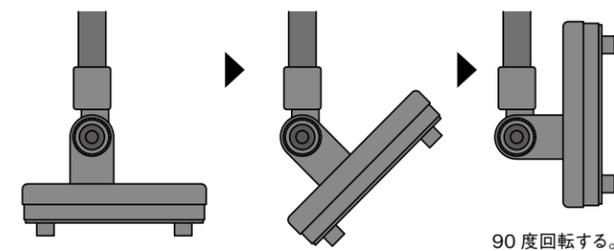
絵／内村祐美 写真／小島俊介(ことり社)

### 3. ジョイントにボルトを差し込み、つまみを取り付ける。



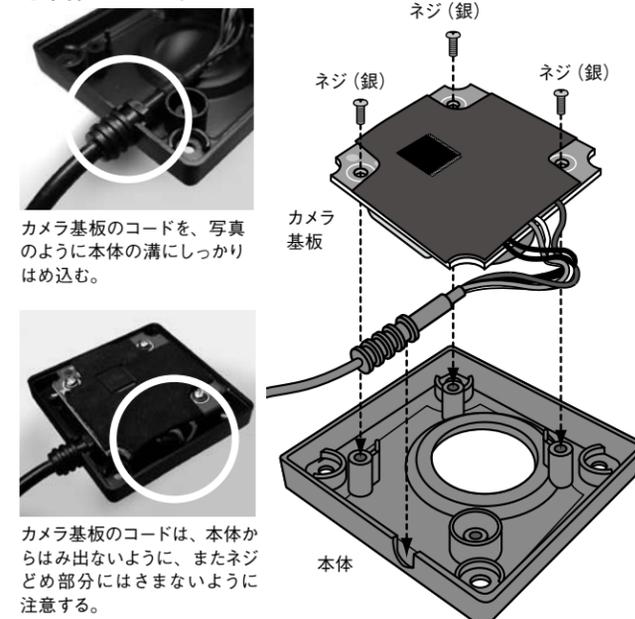
### 4. つまみを調整して、裏ぶたの動く範囲を確認する。

つまみをゆるめると裏ぶたの向きを変えられ、つまみをしめると裏ぶたを固定できる。

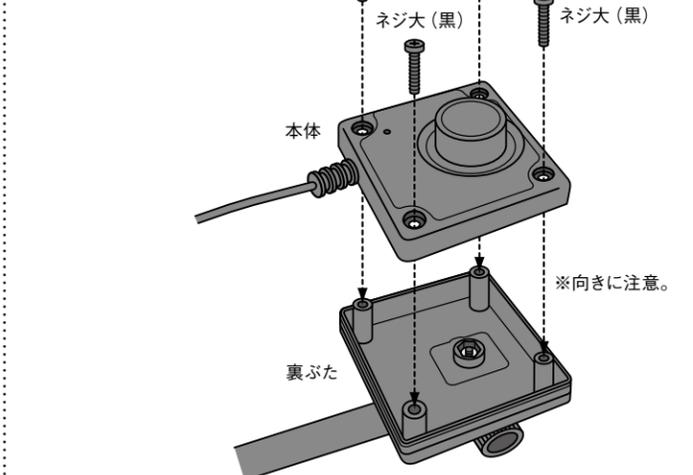


### 5. 本体にカメラ基板を取り付ける。

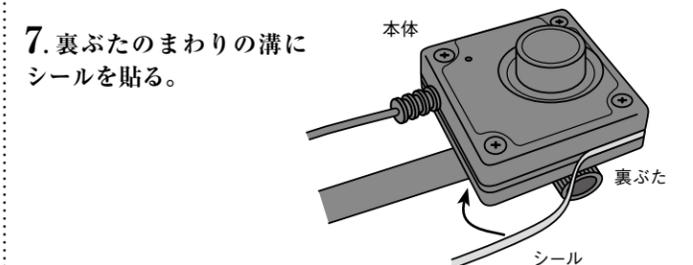
最初に USB ケーブルを本体にはめる。



### 6. 本体を裏ぶたに取り付ける。

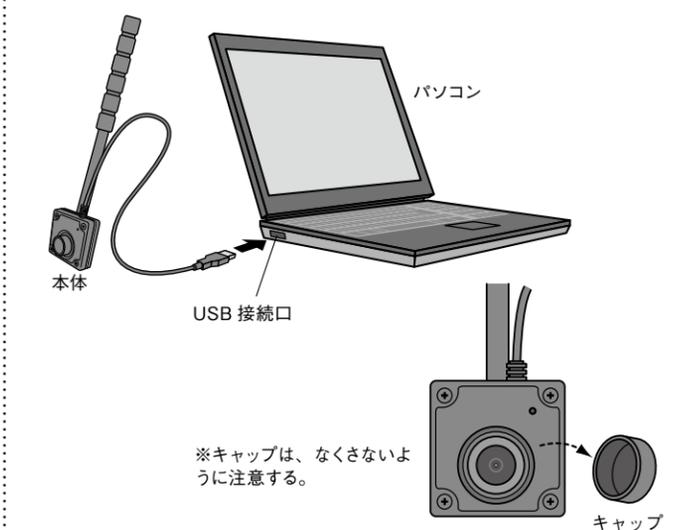


### 7. 裏ぶたのまわりの溝にシールを貼る。



## パソコンと接続する

USB 特撮カメラの USB コネクタを、パソコンの USB 接続口に差し込む。カメラのキャップをはずす。



# 特撮カメラで撮影する

ここでは、OS標準のソフトを使用した撮影の仕方を解説する。OS別に解説するので、自分の使用しているOSのところを読む。

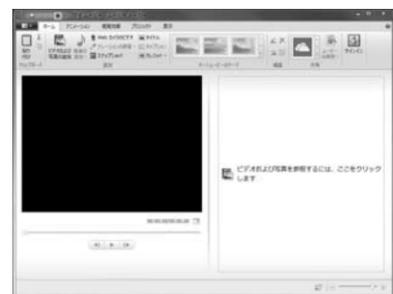
Windowsでは、「ムービーメーカー」あるいは「Liveムービーメーカー」でUSB特撮カメラの映像を取り込んで録画、編集することができる。上記のソフトは、マイクロソフトのウェブから無料でダウンロードできる。



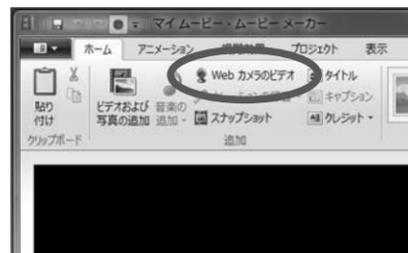
【ムービーメーカー・Liveムービーメーカー】  
http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows/get-movie-maker-download

## Windows 7 Windows 8の場合

1. 「ムービーメーカー」を起動する。



2. [ホーム]の[Webカメラのビデオ]を選択する。



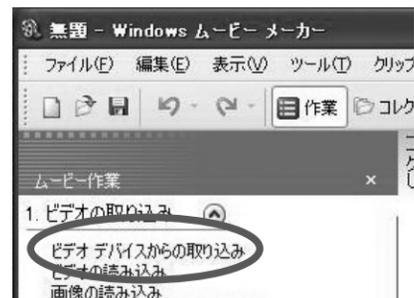
3. [録画]を押せば、USB特撮カメラの映像を録画できる。



4. 録画した動画は、そのまま「ムービーメーカー」で編集、保存する。

## Windows XPの場合

1. ムービーメーカーを起動して、[ビデオの取り込み]の[ビデオデバイスからの取り込み]をクリックする。



2. [利用可能なデバイス]で[USBビデオデバイス]を選択、オーディオデバイスで[Magic Sound]を選択して、[次へ]をクリックする。



3. 取り込んだビデオに付けるファイル名を入力、保存場所を選択して、[次へ]をクリックする。



5. [取り込みの開始]で録画を始めて、[取り込みの停止]で終了する。これの繰り返しで複数の動画を録画できる。終わったら[完了]をクリックする。



4. ビデオの品質を選択して、[次へ]をクリックする。



## Windows 8では、「カメラ」でも使える。

1. スタート画面で[カメラ(Camera)]を選択する。



2. 右下に表示される[カメラの変更]でUSB特撮カメラの映像を選ぶ。タッチパネルの場合は、画面にタッチすると撮影される。[ビデオモード]で動画撮影ができる。画面にタッチすると撮影が開始され、もう一度タッチすると停止する。



3. 撮影したものを見るときは、スタート画面に戻り、[フォト(Photo)]を選択する。



6. [コレクション]に録画した映像が表示されるので、引き続き、編集、保存する。



## Windows Vistaの場合

Windows Vistaのムービーメーカーは外部カメラを認識できない。そのほかの動画キャプチャあるいは動画編集ソフトを使う必要がある。P.38参照。

※推奨環境下でのご利用の場合でもご使用のパソコンの設定によりましては、正常にご利用いただけない場合がございます。

## Macintoshの場合

1. QuickTime Playerを立ち上げる。[ファイル]から[新規ムービー収録]を選択する。



2. ムービー収録ウィンドウが開く。



3. ▼をクリックして、カメラ[USB 2.0 PC Camera]と、マイク[Magic Sound]をチェックして選択する。

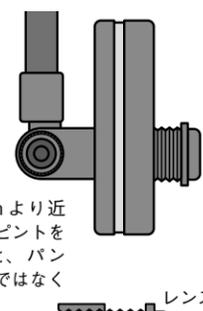


4. 撮影した動画ファイルを、名前を付けて保存する。保存した動画は、「iMovie」に取り込めば編集することができる。自動でアカウントの「ムービー」フォルダに保存される場合もある。

## ピントの合わせ方

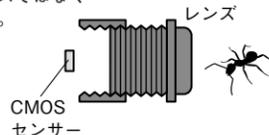
USB特撮カメラのピント合わせは、ネジ式になっている。レンズを反時計回りに回していくと、近くのものにピントが合うようになり、時計回りに回していくと、遠くのものにピントが合うようになる。撮影している映像をパソコンで見ながらピントを合わせる。

近くのものにピントを合わせたいとき



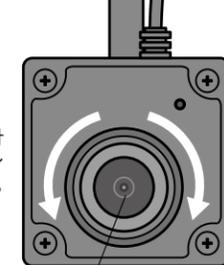
レンズを反時計回りに回す。レンズが出てくる。

※7~8cmより近い被写体にピントを合わせると、パンフォーカスではなくなります。

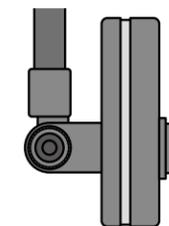


※レンズを反時計回りに回していくと、いずれレンズがはずれてしまいます。レンズがはずれた状態は、CMOSセンサーにゴミがつきやすく、撮影した画像にゴミが映り込む原因になります。レンズをはずさないよう注意してください。

遠くのものにピントを合わせたいとき

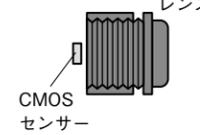


レンズを時計回りに回す。レンズが引っ込む。



※撮影しながら後ろからレンズを回す場合は、時計回りと反時計回りが逆になるので、注意。

センサー・レンズ・被写体の位置関係



※レンズを時計回りに回して、7~8cmより遠いところにピントを合わせると、パンフォーカスで遠景にも近景にもピントが合います。しかし、回しすぎると、どこにもピントが合わなくなります。

## Q&A

Q: PCがカメラを認識しない。  
A: USBコードを抜き、パソコンを再起動させてから差し込みなおしてみましょう。  
A: このカメラは多くのパソコンで動作確認を行って、問題が起こらないことを確認していますが、USB接続の機器には相性があり、ある条件で認識しにくい症状が起こる場合があります。ほかのパソコンなどでも試してみましょう。  
A: ノートパソコンなど、パソコンにすでにカメラが備わっている場合は、カメラを選択する手続きが必要となります。また、カメラの名称が正しく表示されない場合もありますので、選択肢が複数表示されている場合は、いろいろ試してみましょう。  
Q: 画像の動きが遅れる。  
A: このカメラは通常のWEBカメラより被写界深度を深くしているため、絞りが小さく、暗い場所では遅くなります。なるべく明るい環境で試してみましょう。  
Q: 画面に黒い点が出る。  
A: CMOSセンサーにゴミがついている可能性があります。撮像素子に直接触れることは故障の原因になります。気になる場

合はレンズをはずし、エアダスターなどでほこりをはらいましょう。  
Q: ピントが合わない  
A: レンズのフチをつまんで、回転させましょう。カメラの正面から見て、レンズを右に回すと遠方に、左へ回すと近くにピントが合うようになります。  
Q: Q & Aにあてはまらない症状がある。  
A: 今後、発生する情報についてはWebページでお知らせしますので、そちらも参考にしてください。アドレスはhttp://otonanokagaku.net/magazine/vol40/description.htmlです。  
Q: 部品をなくした  
A: 少しでも、予備品を用意しています。紛失した部品名と、お送り先の住所、お名前、電話番号を60ページ下欄の連絡先までメールやお電話でお知らせください。  
Q: 部品が足りない  
A: 不足の部品名と、お送り先の住所、お名前、電話番号を60ページ下欄の連絡先までお知らせください。早急に発送手配させていただきます。

## USB特撮カメラ仕様

本体サイズ(幅×高さ×奥行): 40×40×20mm  
ケーブル長: 約100cm  
本体重量: 約58g  
フォーカス: 0.1mm-∞(マニュアル)  
画角: 55°  
画像センサー: 200万画素 CMOS  
画面縦横比: 4:3  
フレームレート: 明るさにより可変  
内蔵マイク: モノラル(無指向性)  
露出: 自動  
ゲイン(ホワイトバランス): 自動  
レンズ: プラスチック3群4枚  
接続I/F: USB 2.0  
対応OS:  
Windows XP (SP2) / Vista / 7 / 8  
Mac OSX 10.6 / 10.7 / 10.8

※センサーの画素数は200万画素ですが、収録画素数は撮影するソフト等によって変わります。